

# コスモ石油株式会社

## 2004年度中間決算説明

---

2004年11月17日

専務取締役

森川 桂造

単位:億円

	当中間期	当中間期内訳		前年同期比	前年同期比内訳	
		単独	連結会社		単独	連結会社
売上高	9,910	9,002	908	685	1,160	475
営業利益	218	168	50	122	128	6
経常利益	201	137	64	120	127	7
中間純利益	41	45	4	13	49	36

# P / L 単独 営業利益128億円増益の要因分析

単位:億円

	当中間期	前年同期比	増減理由
売上高	9,002	1,160	販売価格の上昇 +701億円 総販売数量の増加 +459億円
売上原価	8,416	1,050	原油価格などの上昇 +796億円 数量の増加要因 +442億円 在庫評価の影響 188億円
販管費	418	18	合理化・効率化による減少
営業利益	168	128	

		当中間期	前年同期比
売上高の増減要因	販売価格(円/KL)	30,570	3,490
	総販売数量(千KL)	20,953	862
	増減率	-	104.3%
	内需燃料油数量(千KL)	13,991	329
	増減率	-	102.4%
受入原油価格	FOB(\$/BBL)	35.22	8.70
	為替(円/\$)	109.83	8.7円(円高)
	税込価格(円/KL)	27,560	4,578
在庫評価の影響 (符号:対利益)	当中間期の影響(億円)	120	原価の押し下げ
	前中間期の影響(億円)	68	原価の押し上げ

内需燃料油内訳	前年同期比
ガソリン	104.7%
灯油	96.0%
軽油	101.6%
A重油	106.7%
4品計	103.3%
ナフサ	104.8%
ジェット	118.6%
C重油	93.2%
内需燃料油計	102.4%

# P / L 単独 中間純利益49億円増益の要因分析

単位:億円

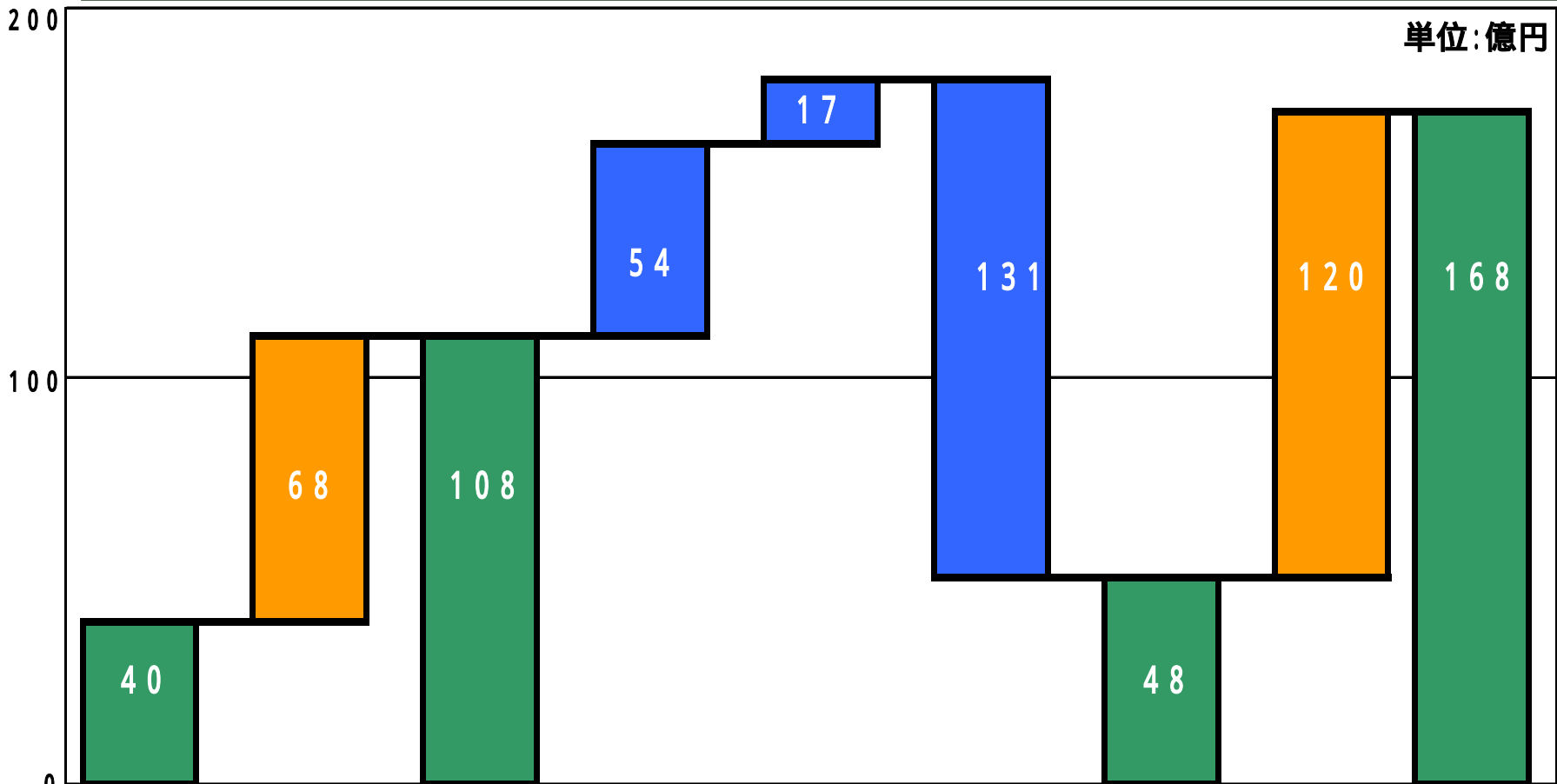
	当中間期	前年同期比	増減理由
営業利益	168	128	
営業外損益	31	1	金融収支 + 13億円、その他営業外損益 + 6億円 為替差額 20億円
経常利益	137	127	
特別損益	68	57	当中間期より「固定資産の減損会計」早期適用 76億円
中間純利益	45	49	

## 資産グループ別減損金額

資産グループ	単独	連結会社	合計
石油事業	-	11	11
不動産賃貸事業	5	3	8
遊休資産	71	11	82
合計	76	25	101

コスモ石油販売のみ

# P / L 単独 営業利益128億円増益の要因分析



03年度 中間 営業利益	03年度 中間 在庫評価 の影響	在庫評価 の影響を 除いた 03年度 中間 営業利益	合理化・ 価値創造 の効果	内需4品 販売数量 増	市況の 影響他	在庫評価 の影響を 除いた 04年度 中間 営業利益	04年度 中間 在庫評価 の影響	04年度 中間 営業利益
--------------------	---------------------------	---	---------------------	-------------------	------------	---	---------------------------	--------------------

内需4品: ガソリン・灯油・軽油・A重油



単位:億円

	当中間期	前年同期比	増減理由
アブダビ石油	57	25	原油価格上昇(28 34\$/BBL) 為替の悪化(119 109¥/\$ 円高)他
販売子会社	9	12	販売子会社合併時の引当実施 1-6月の市況の影響(12月決算のため)
コスモ石油ルブリカンツ	6	4	合理化の実施他
コスモ松山石油	8	1	芳香族を中心とした販売価格の上昇

上記会社の売上高、経常利益、当中間純利益については、補足資料 を参照ください

## B / S 連結 総資産345億円増加の要因

単位:億円

	当中間期末	前期末比
総資産	12,946	345
有利子負債額	5,399	194

## 資産総額345億円増加の要因

たな卸資産の増加	657億円
有利子負債の削減	194億円
減損会計の早期適用に伴う固定資産の減少	101億円
その他	17億円

計	345億円
---	-------

単位:億円

	当中間期	前期末比	増減理由
営業活動によるキャッシュ・フロー	183	-	原油価格の高騰等によるたな卸資産の増加等
投資活動によるキャッシュ・フロー	30	-	固定資産の取得・処分等
財務活動によるキャッシュ・フロー	219	-	有利子負債の削減
期末のキャッシュ残高	614	431	



## 04年度 通期業績予想 連結

単位:億円

	通期	前期比
売上高	21,300	2,137
営業利益	530	278
経常利益	500	305
当期純利益	180	98

## 主要会社別 営業利益 業績予想

	通期	前期比
コスモ石油単独	370	240
アブダビ石油	130	55
販売子会社	5	10
コスモ石油ルブリカンツ	9	2
コスモ松山石油	14	2

# 04年度 通期業績予想 単独

単位:億円

	通期	前期比
売上高	18,900	2,113
営業利益	370	240
経常利益	300	229
当期純利益	130	99
配当(円)	6	-

## 業績予想の前提

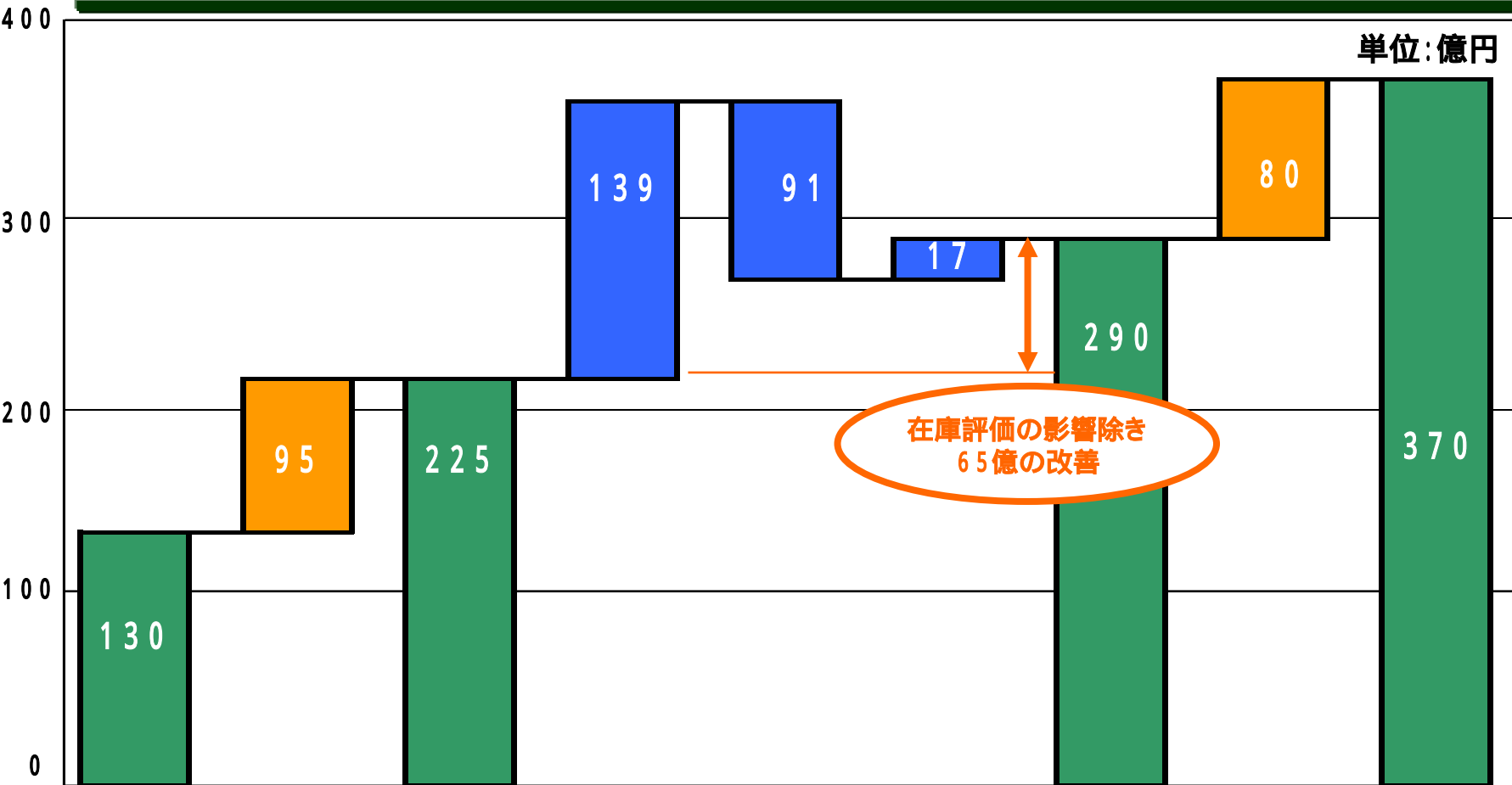
	通期
FOB(\$/BBL) <下期>	35.00
為替(円/\$) <下期>	110.00
総販売数量(千KL)	44,000
総販売数量(前期比、%)	98.7%
内需販売数量(前期比、%)	99.9%
「合理化・価値創造」効果(億円)	139

## 内需販売数量内訳

	通期		通期
ガソリン	102.4%	ナフサ	102.2%
灯油	101.1%	ジェット	107.4%
軽油	99.3%	C重油	86.4%
A重油	103.9%		
4品計	101.7%	内需燃料油計	99.9%

# 04年度 通期業績予想 単独 営業利益240億円増益の要因分析

単位:億円



在庫評価の影響除き  
65億の改善

03年度 営業利益	03年度 在庫評価の影響	在庫評価の影響を除いた03年度 営業利益	合理化・価値創造の効果	市況の影響他	販売数量増	在庫評価の影響を除いた04年度 営業利益	04年度 在庫評価の影響	04年度 営業利益
-----------	--------------	----------------------	-------------	--------	-------	----------------------	--------------	-----------

## 04年度「合理化・価値創造」139億円の内訳

項目	部門	内容	04上実績	04下計画	04通期
合理化	供給部門	VLCC用船料の低減	2	1	3
		製油所の省エネ、保全費・作業費の削減など	8	9	17
	販売部門	経費の削減	1	8	9
	物流部門	自社・共同基地の有効活用など	3	1	4
	管理部門	人件費や一般経費の削減	10	7	17
合理化 計 (億円)			24	26	50
価値創造	供給部門	収益性改善プログラム導入による付加価値アップ	10	14	24
		FCC増強・精製プロセス改善	4	5	9
	販売部門	出資子会社を中心とした流通構造革新	12	42	54
		カード収入増	2	0.1	2
	新規事業	IPP事業他	2	2	0
価値創造 計 (億円)			30	59	89
合理化・価値創造 計 (億円)			54	85	139

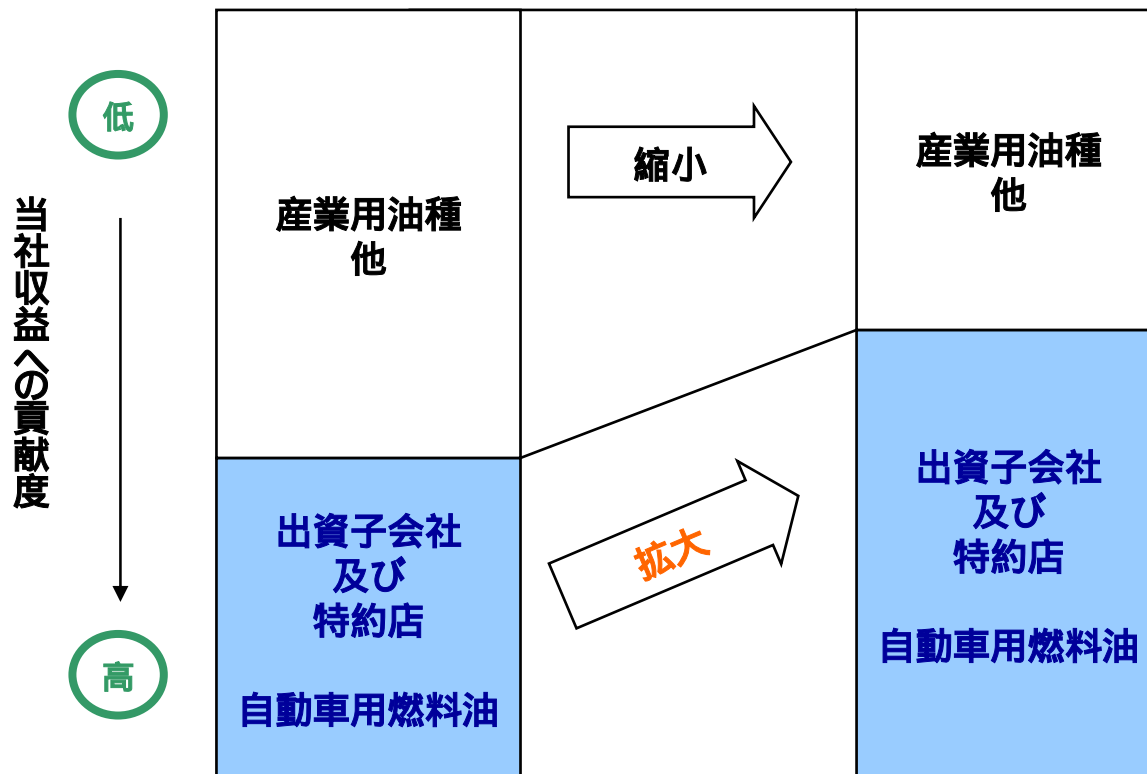
# 価値創造の取り組み事例 「販売部門」

## 出資子会社を中心とした流通構造革新

販路構成の改善 当社にとって収益貢献度の高い販路(出資子会社、特約店)の数量比率向上

油種構成の改善 収益性の高い油種(自動車用燃料油:ガソリン・軽油)の数量比率向上

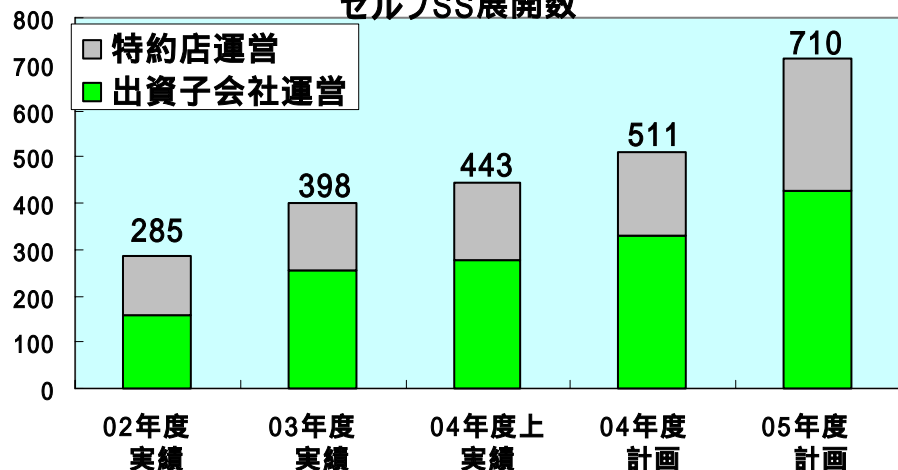
## 販路・油種の数量構成の変化イメージ



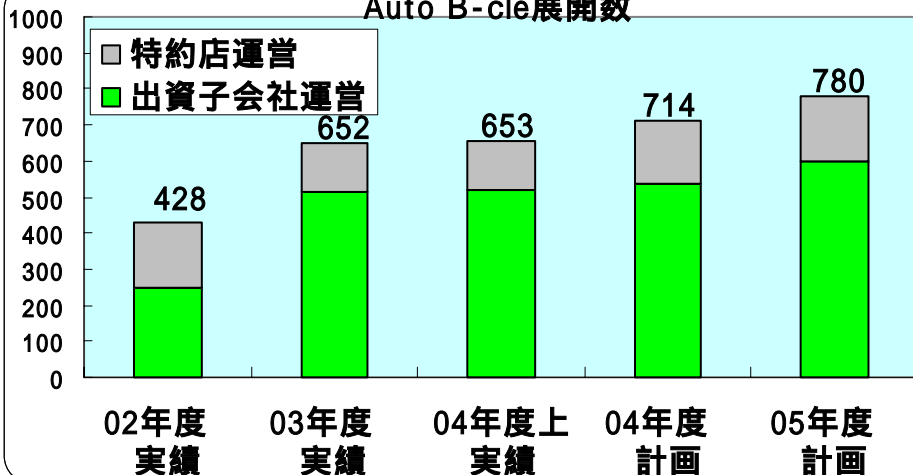
# 価値創造 「販売部門」進捗

セルフSS数 / Auto B-Cle数 / コスモ・ザ・カード有効会員数 進捗

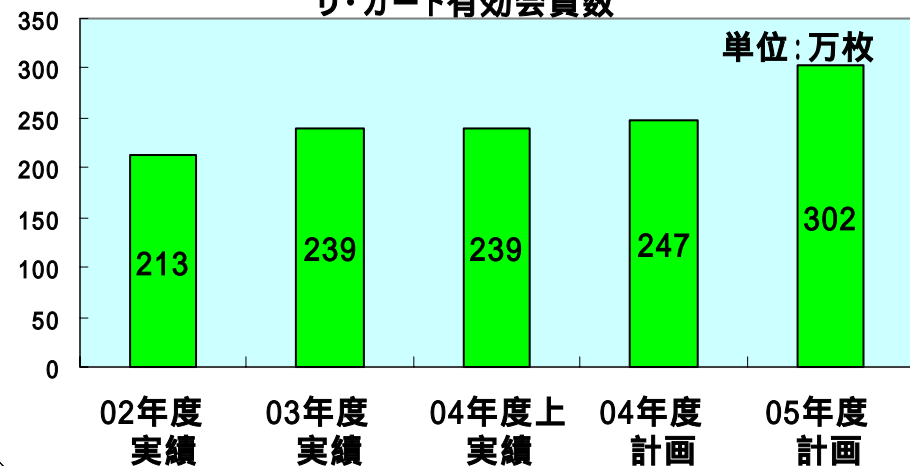
### セルフSS展開数



### Auto B-cle展開数



### ザ・カード有効会員数



## 補足資料 販売および原油の状況

販売の状況			
	当中間期	前年同期比	増減率
総販売数量 千KL	20,953	862	104.3%
内需燃料油 千KL	13,991	329	102.4%
内 4品数量 千KL	8,639	277	103.3%
マグナムレシオ	17.7%	0.4%	-
原油処理、価格、為替			
	当中間期	前年同期比	増減率
受入原油代(FOB)\$/BBL	35.22	8.70	-
為替レート¥/\$	109.83	8.70	-
受入原油代(税込)¥/KL	27,560	4,578	-
原油処理量千KL	14,261	176	101.2%
トッパー稼働率 (CD)	82.4%	0.7%	-
トッパー稼働率 (SD)	92.3%	7.9%	-

SD: 定期整備等の影響を除いた稼働率

## 補足資料 人員数・油槽所数・SS数推移

人員数推移	実績								計画
	98/3末	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末	04/3末	04/9末	05/3末
石油単独	3,109	2,677	2,048	1,970	1,892	1,837	1,764	1,754	1,694
グループ	5,678	5,256	4,600	4,416	3,978	3,736	3,565	3,528	3,482
グループ:石油単独 + 出向									

油槽所数推移	実績								
	98/3末	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末	04/3末	04/9末	05/3末
DT数	57	52	45	41	39	39	38	38	38

SS数推移(可搬式を含む)	実績								計画
	98/3末	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末	04/3末	04/9末	05/3末
社有	1,172	1,105	1,065	1,010	977	959	930	918	919
自己	5,614	5,376	5,040	4,769	4,564	4,313	4,112	4,015	3,947
合計	6,786	6,481	6,105	5,779	5,541	5,272	5,042	4,933	4,866

### 上記のうち、セルフSS数

	98/3末	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末	04/3末	04/9末	05/3末
社有	0	3	6	16	77	198	279	305	356
自己	0	2	2	7	32	87	119	138	155
合計	0	5	8	23	109	285	398	443	511



単位:億円

連結	当中間期	前年同期比	増減率
売上高	9,910	685	7.4%
営業利益	218	122	126.4%
経常利益	201	120	149.0%
中間純利益	41	13	48.0%
総資産	12,946	345	-
株主資本	2,063	15	-
株主資本比率	15.9%	0.4%	-
有利子負債額	5,399	194	-
有利子負債比率	41.7%	2.7%	-
单独	当中間期	前年同期比	増減率
売上高	9,002	1,160	14.8%
営業利益	168	128	320.8%
経常利益	137	127	-
中間純利益	45	49	-
総資産	11,628	533	-
株主資本	1,726	24	-
株主資本比率	14.8%	0.5%	-
有利子負債額	4,903	40	-
有利子負債比率	42.2%	2.4%	-

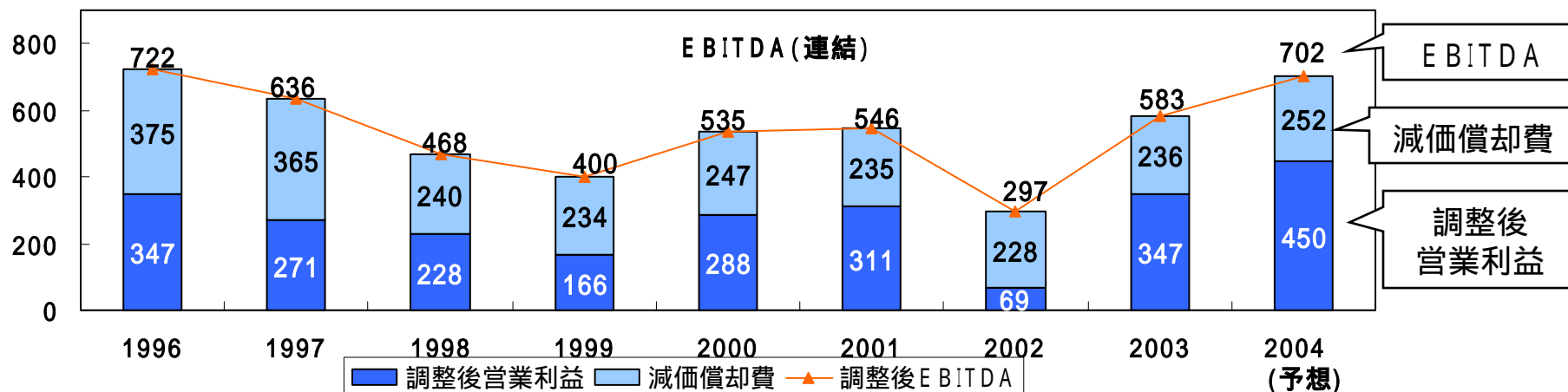
項目	部門	2004年度					
		上期			下期	年度計	
		計画	実績	達成率	見通し	見通し	達成率
		(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(億円)	(%)
合理化	供給	12	10	89.0%	10	20	94.7%
	販売	1	1	100.0%	8	9	100.0%
	物流	3	3	102.9%	1	4	112.1%
	管理ほか	9	10	105.6%	7	17	111.4%
	小計	25	24	97.1%	26	50	102.3%
価値創造	供給	13	14	104.6%	19	33	113.3%
	販売	15	14	97.3%	42	56	94.5%
	新規事業	6	2	32.0%	-2	0	4.2%
	小計	34	30	88.6%	59	89	93.9%
総合計		59	54	92.3%	85	139	96.8%

単位:億円

	売上高	営業利益	経常利益	当中間純利益
アブダビ石油	180	57	56	9
販売子会社	1,368	9	9	27
コスモ石油ルブリカンツ	150	6	6	4
コスモ松山石油	93	8	8	5

# 補足資料 連結 在庫評価の影響を調整したE BITDAの推移

単位:億円



	2000	2001	2002	2003	2004 (予想)
会計上の営業利益	366	221	242	252	530
在庫評価の影響(符号:対利益)	78	90	173	95	80
調整後営業利益(会計上の営業利益 - 在庫評価の影響)	288	311	69	347	450

2000年度より在庫評価方法変更

### 見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。